

2020年4月23日

一宮市長 中野正康 様

日本共産党一宮市委員会

委員長 彦坂 和子

渡邊 智史

尾関 宗夫

新型コロナウイルス感染症に関する申し入れ

市民の福祉の向上ならびに新型コロナウイルス感染症対策に連日ご努力されている市長はじめ職員の皆さまに敬意を表します。

4月16日政府は、愛知県を特に重点的な対策を進める「特定警戒県」と位置付けました

県は日常生活に必要な業種を除く店舗や施設に4月17日～5月6日まで休業を要請しました。

一宮市は、市町村別では名古屋市を除き県内最多の感染者数です。市民の新型コロナウイルスへの不安は広がっています。感染症による危機から市民のいのちと健康、暮らし、営業を守るため以下のように要望いたします。

記

- 1.感染予防対策として「自粛要請と一体に補償を行う」ことを基本方針に据えるよう国に求めると共に、市として「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」も活用した保障の仕組みを検討すること
- 2.新型コロナウイルスに関する懇談の機会を設定すること
前回申し入れの回答と今回の内容に関する懇談を求めます。
- 3.市民への具体的なメッセージ・情報発信を行うこと
ワンストップ相談窓口(電話・各庁舎)設置、差別と偏見、パニックをなくす情報発信、利用できる制度のPRの徹底、ホームページの充実等
- 4.中小企業・自営業者の生活と経営を守ること
国民健康保険被保険者の保険税減免・傷病手当金の対象拡大(事業主・家族従業員)・滞納整理の猶予・延滞金免除、家賃・リース料等固定費の補助、休業した業者の保障、消費税減税等

5.市民、労働者の生活とくらしを守ること

上下水道基本料金の免除、家賃の補助、住居の退去を余儀なくされた方への市営住宅斡旋、国民健康保険税減免・猶予、資格証明書世帯への保険証の発行、あらゆる制度を活用して労働者(正規・非正規)・フリーランス・学生等の状況を掴み収入の8割を保障する等

6.検査体制・医療スタッフを充実し、医療崩壊を防ぐこと

発熱外来、PCR検査場所の確保と周知。医療機関へ医療器材を優先的に供給、感染症ベッドの確保

7.医療・介護・保育・障害者等の現場をしっかり支えること

現況把握、経営を支える損失補償、感染防止対策に必要な医療器材の供給、固定費補助や減税等

8.子ども達が安心して、学び・暮らせるようにすること

現況把握と家庭学習支援、自主登校時の「三密」の回避等感染予防策の実施、校庭開放、子どもへの昼食提供等

以上